

市民説明会

長崎まちづくりのグランドデザイン2050(素案)

令和7年8月
長崎市まちづくり部都市計画課

- 1 長崎まちづくりのランドデザイン2050とは
- 2 ランドデザイン策定背景
- 3 長崎まちづくりのランドデザイン2050（素案）
- 4 今後の予定

1 長崎まちづくりのグランドデザイン2050とは

- まちづくりの分野から人口減少対策を後押しするため、以下の5つのテーマごとに、まちづくりの方向性を示し、様々な方々と行政が一体となりまちづくりを進めていくことを目指すもの。

<エリアの視点>

A 都心部



B 地域拠点・生活地区

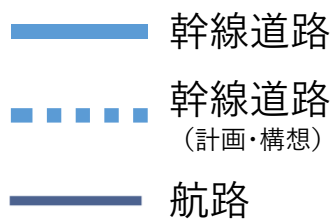


C 斜面市街地

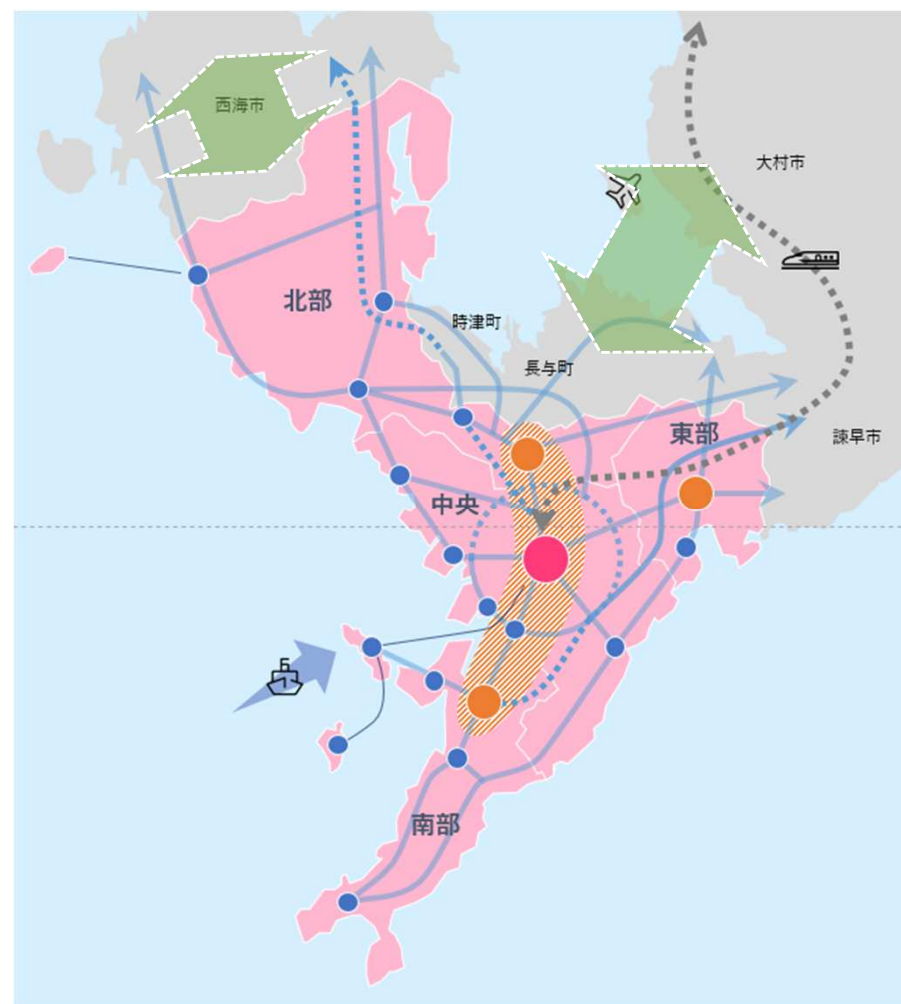


<ネットワークの視点>

D 都心部と周辺部の
つながり



E 広域連携

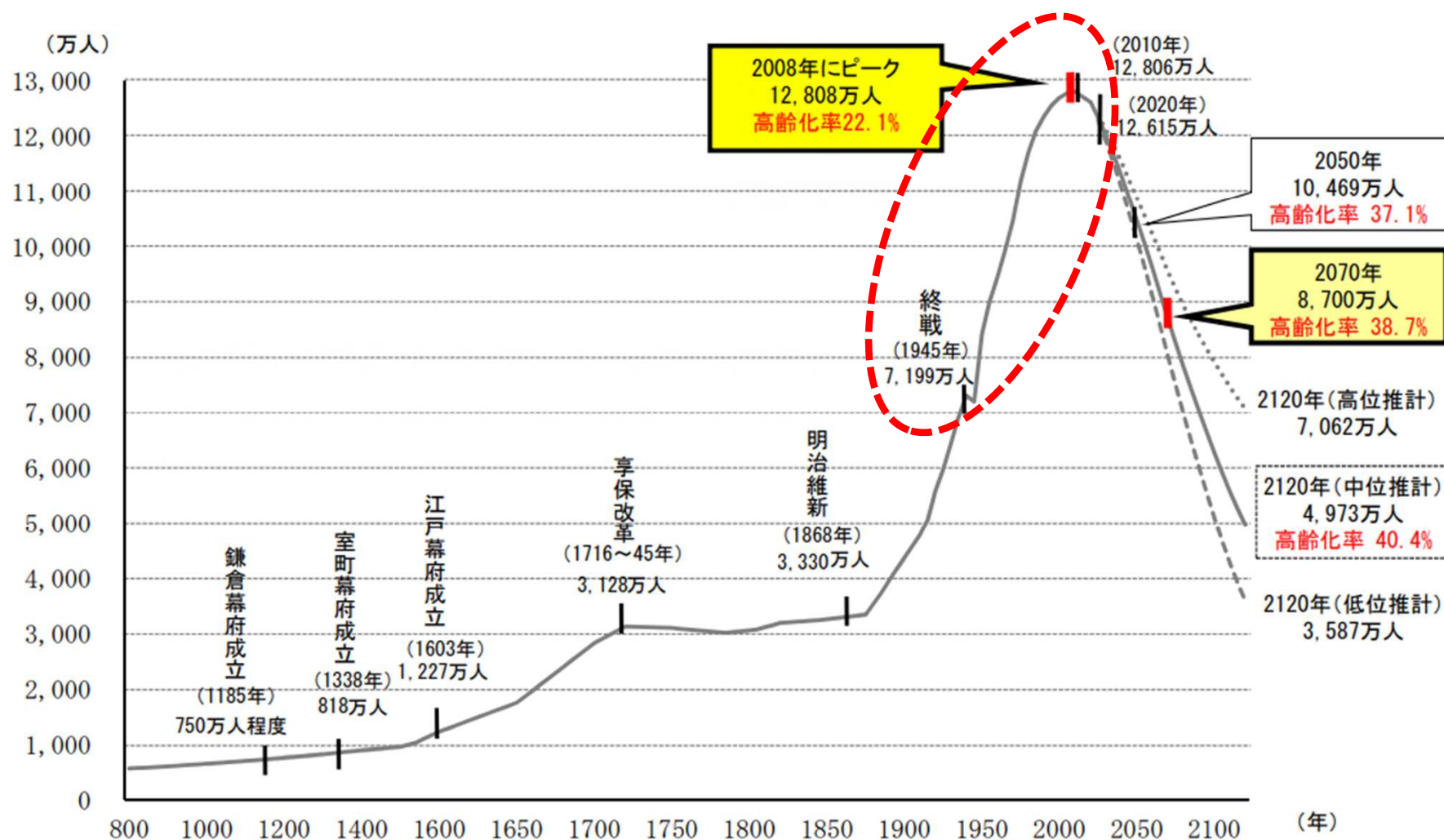


2 グランドデザイン策定背景

都市を取り巻く潮流

戦後から高度経済成長期

我が国の総人口の長期的推移



居住区域の拡大

1947年

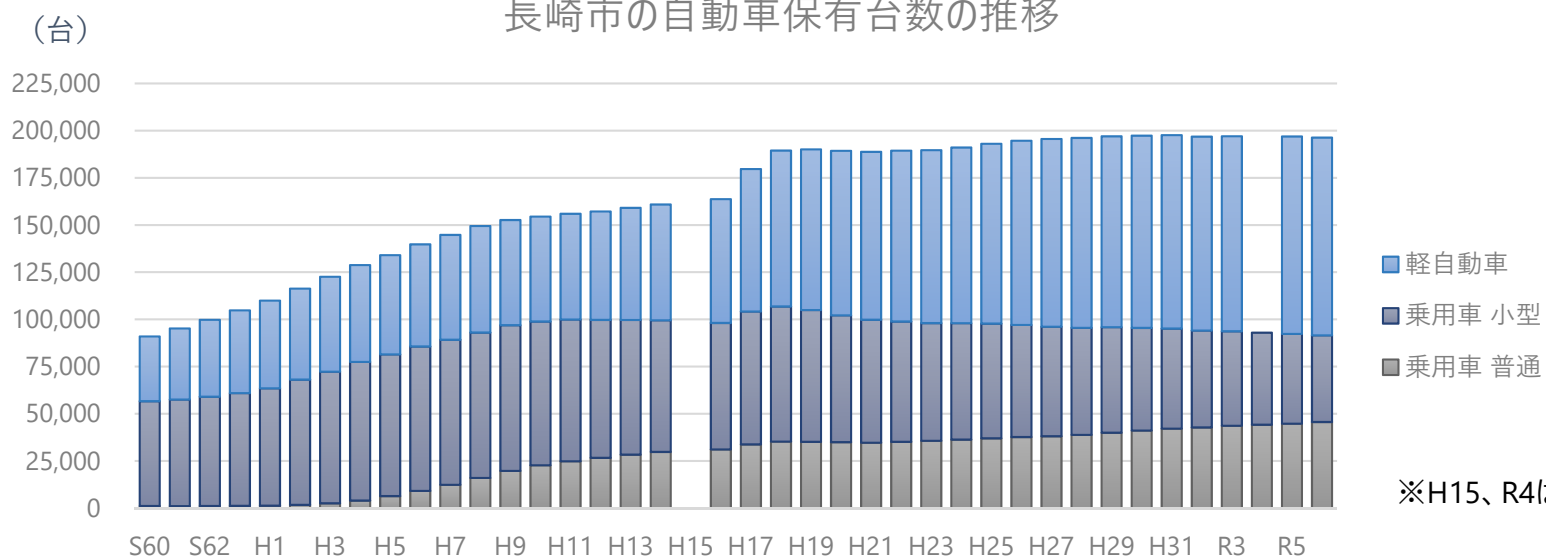


2019年



車社会化

長崎市の自動車保有台数の推移



※H15、R4はデータ欠損

出典：長崎県統計年鑑

戦後から高度経済成長期

人口拡大期

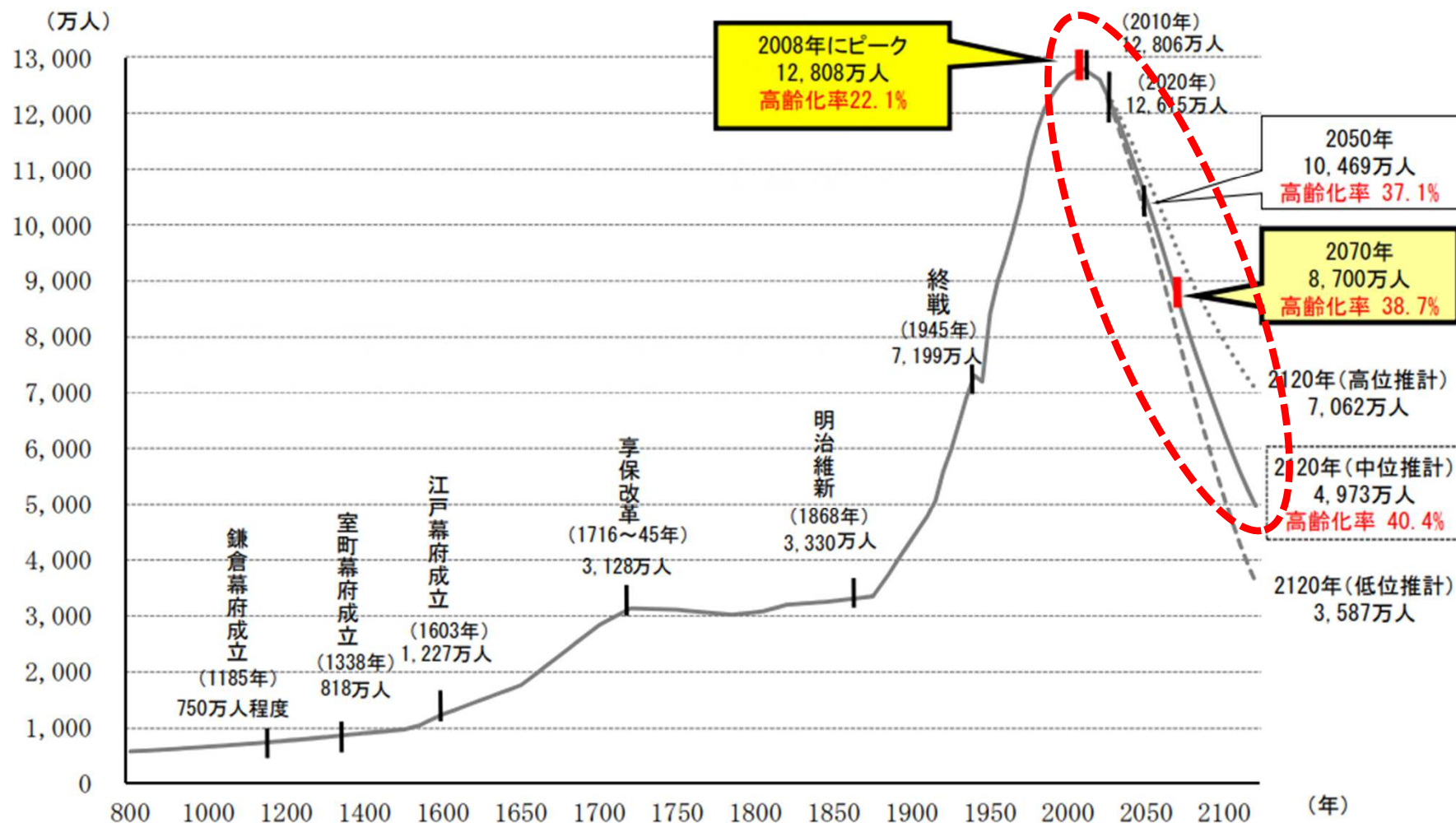


- ✓ 拡大する都市へ対応するためのインフラ整備
- ✓ 開発コントロールによる都市の無秩序な拡大抑制

量的拡大に対応

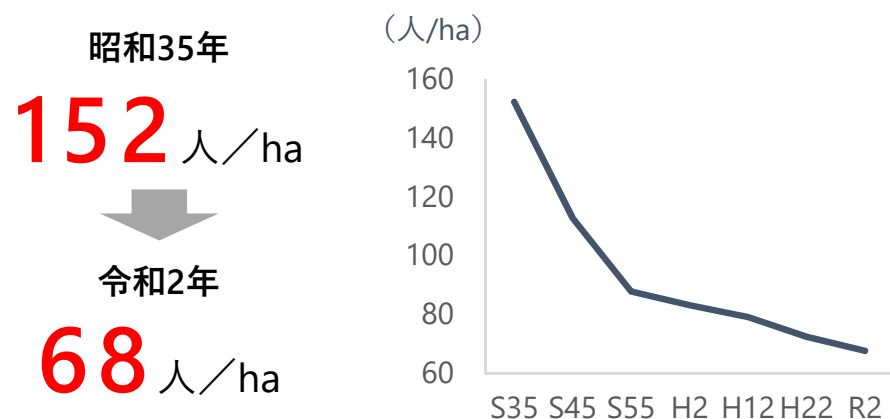
2000年代以降

我が国の総人口の長期的推移

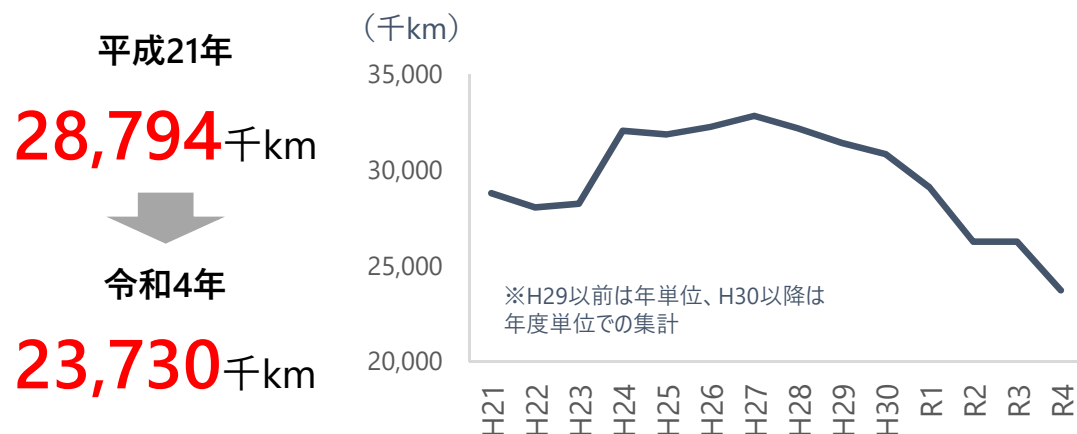


都市を取り巻く潮流

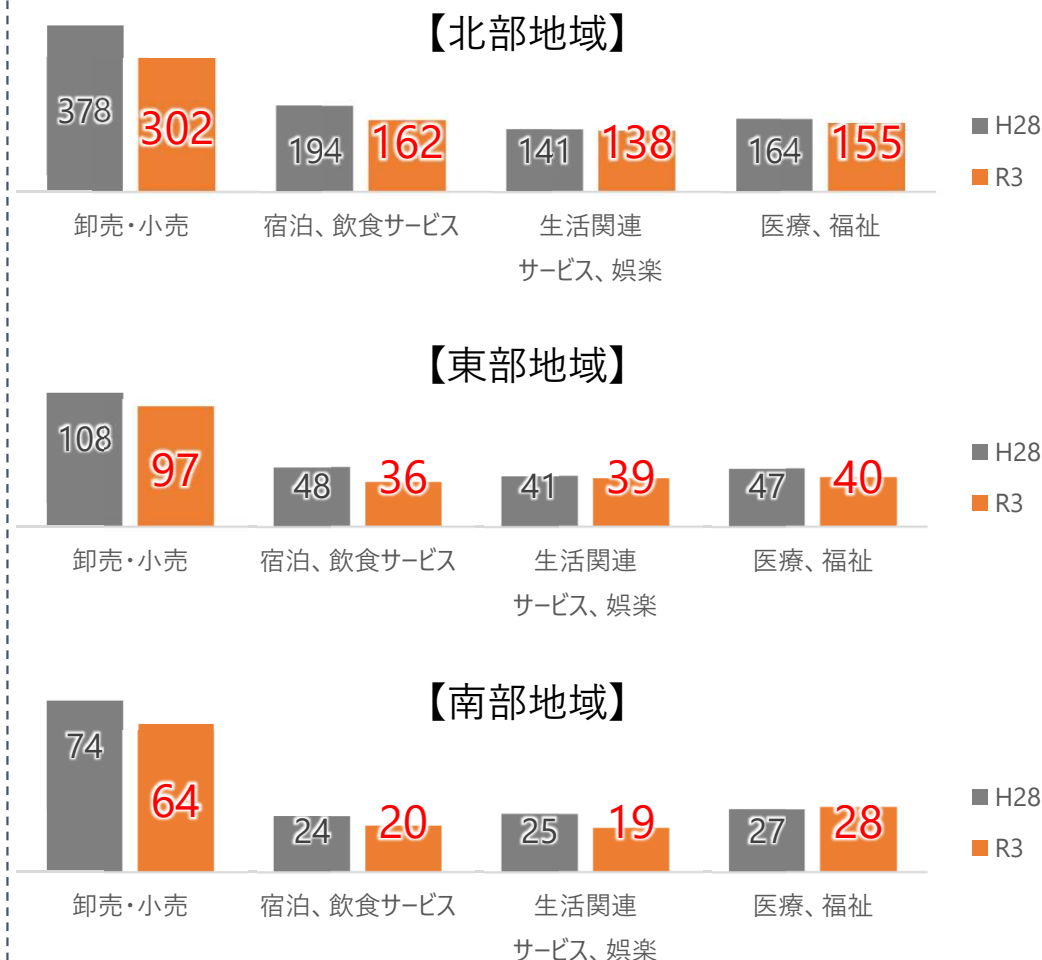
【長崎市】人口密度（人口集中地区内）



【長崎市】路線バス運転キロ数



【長崎市】生活サービス関連事業所



生活サービス維持が困難な地域の発生

さらには、地球温暖化の進行、災害の頻発化・激甚化

2000年代以降

人口減少・少子高齢化による縮退期



- ✓安心・快適な暮らしの確保と財政・経済面で持続可能な都市構造の実現
- ✓環境負荷の低減
- ✓災害に強いまちづくり

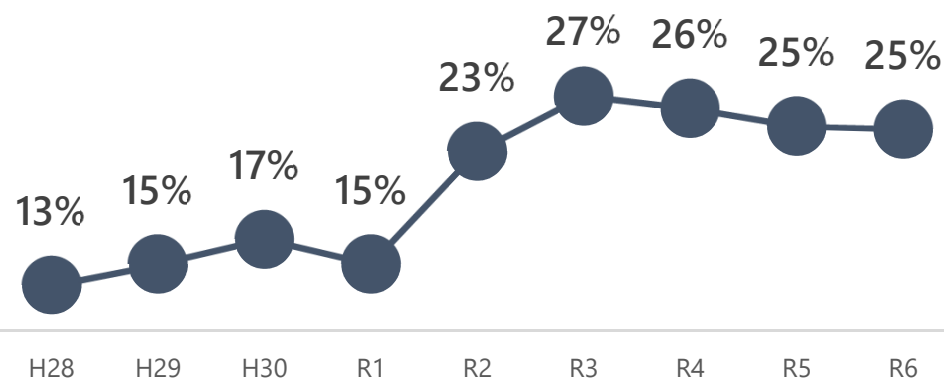
人口減少などへの対応

2020年代以降

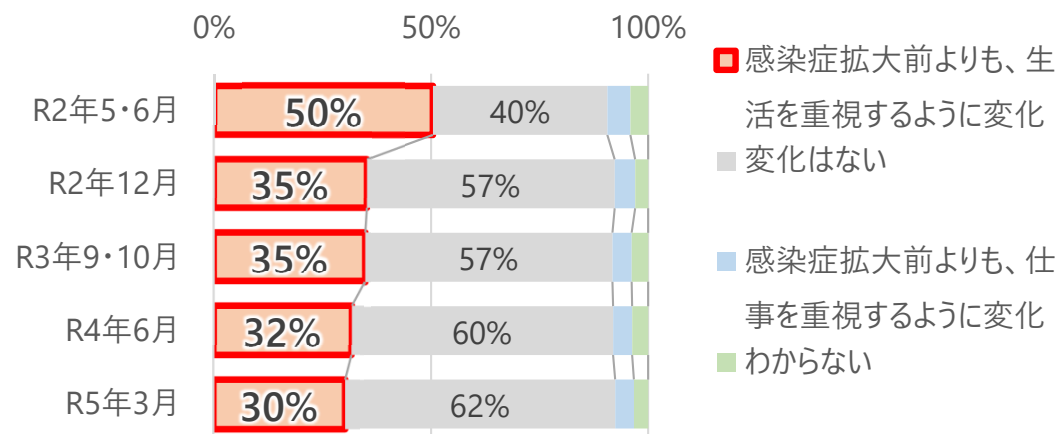
ポスト・コロナ、デジタル技術進展

感染症拡大を契機に、テレワークの普及率が拡大

全就業者における雇用型テレワーカーの割合



出典：国土交通省「令和6年度テレワーク人口実態調査」を基に長崎市作成

「生活を重視するように変化した」人が増加するなど、ワークライフバランスの変化

出典：内閣府「第6回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」を基に長崎市作成

暮らし方・働き方に対する意識や価値観の変化・多様化

多様な価値観や社会の変化に対応するまちづくり

戦後から高度経済成長期

2000年代以降

2020年代以降

人口拡大期

- 都市部への急激な人口流入
- 車社会化

- ✓ 拡大する都市へ対応するためのインフラ整備
- ✓ 開発コントロールによる都市の無秩序な拡大抑制

量的拡大に対応

人口減少・少子高齢化による縮退期

- 生活サービス維持が困難な地域の発生
- 地球温暖化の進行
- 災害の頻発化・激甚化

- ✓ 安心・快適な暮らしの確保と財政・経済面で持続可能な都市構造の実現
- ✓ 環境負荷の低減
- ✓ 災害に強いまちづくり

ポスト・コロナ、デジタル技術進展

- 暮らし方・働き方に対する意識、価値観の変化・多様化

- ✓ 多様な価値観や社会の変化に対応するまちづくり

人口減少などへの対応

ネットワーク型コンパクトシティ長崎

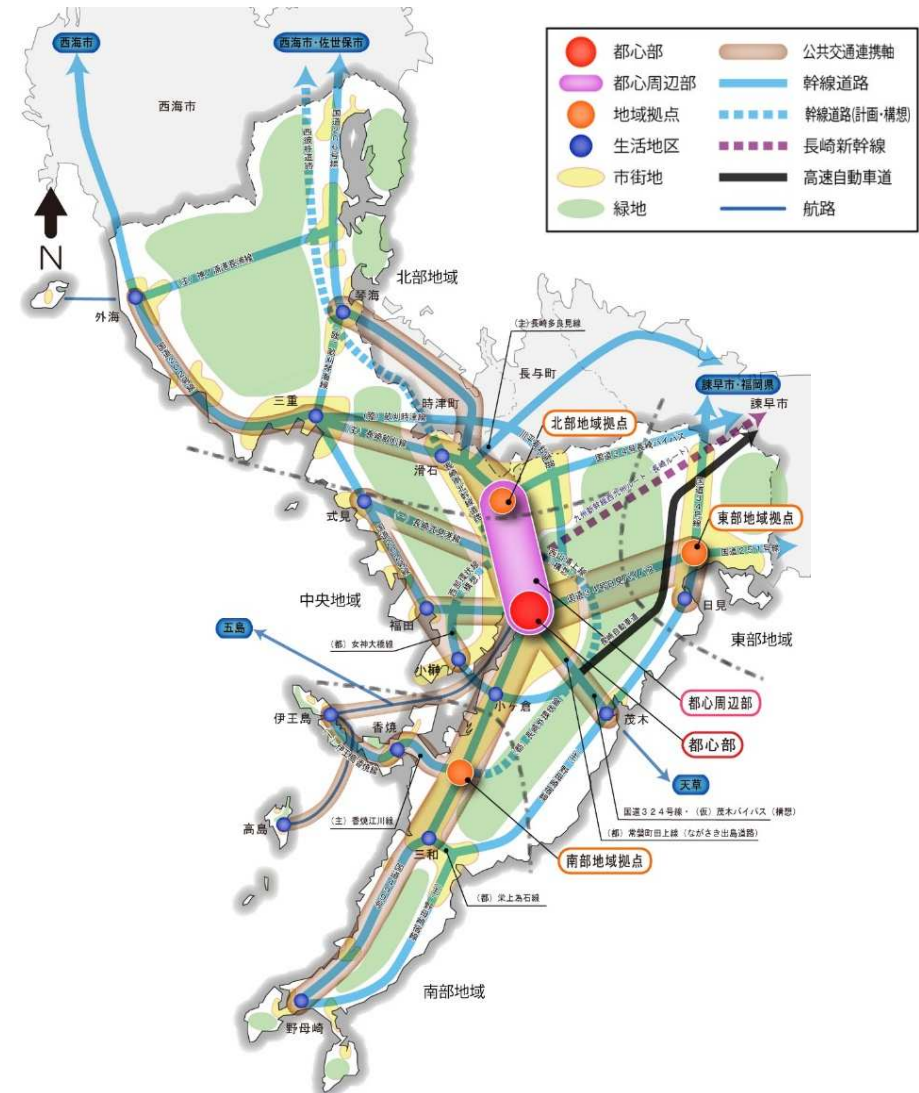
～長崎らしい「集約（コンパクト）と連携（ネットワーク）」の都市づくり～

● まとまり（コンパクト）

みんなが集まりやすい場所に暮らしに必要な機能をまとめ、その周辺の安全で暮らしやすい場所に緩やかに居住を誘導する

● つながり（ネットワーク）

みんなが暮らしに必要な機能を利用できるようにつなげる

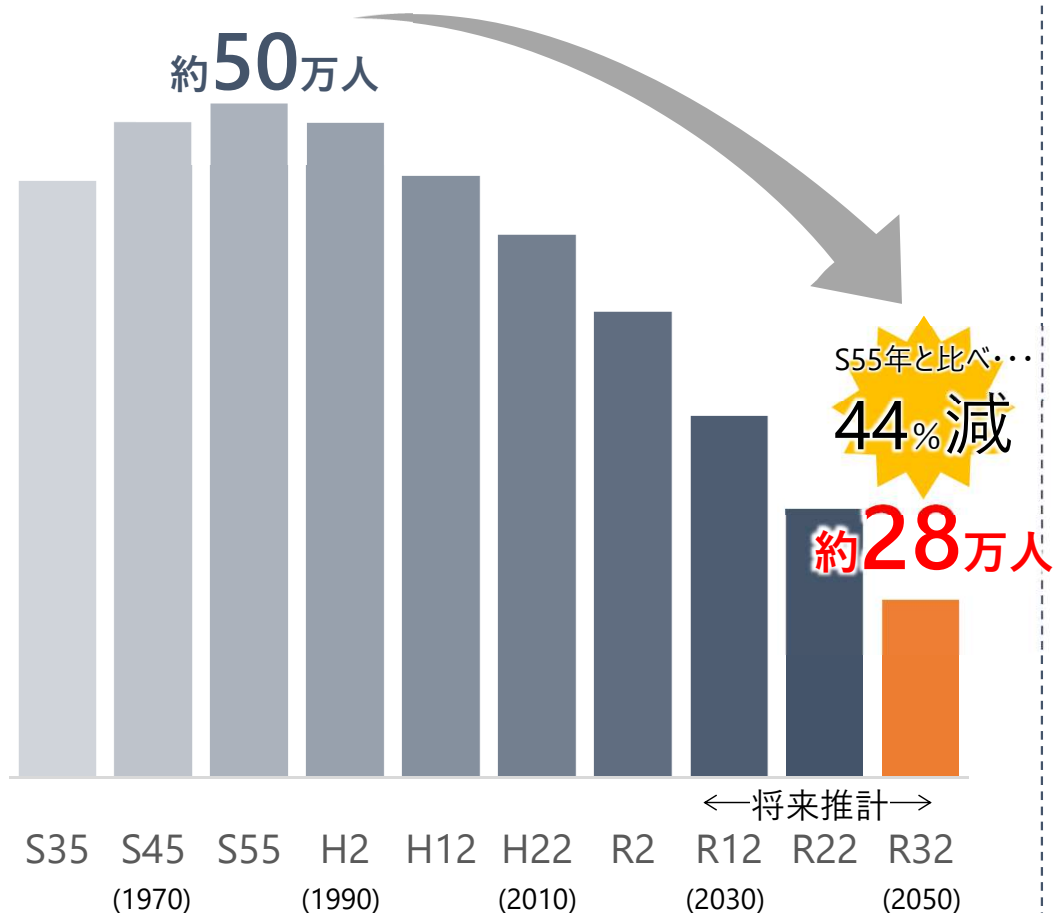


深刻な人口減少の進展

長崎市の人口

令和32(2050)年、長崎市の人口は、
約**28万人**（昭和55年と比べ44%減少）

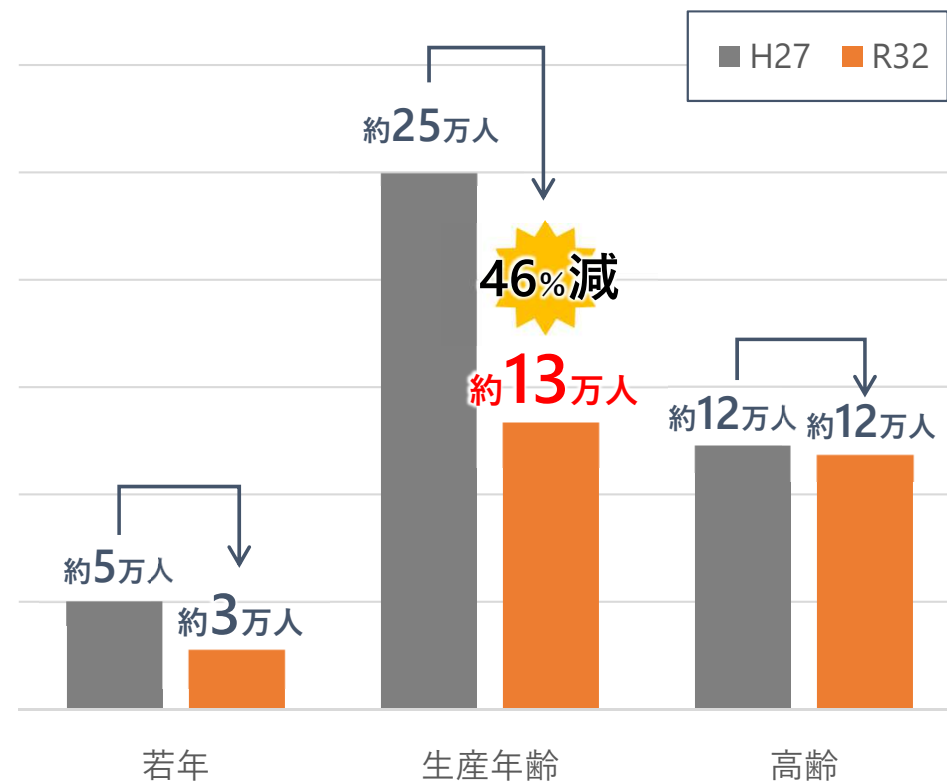
【長崎市の人口推移】



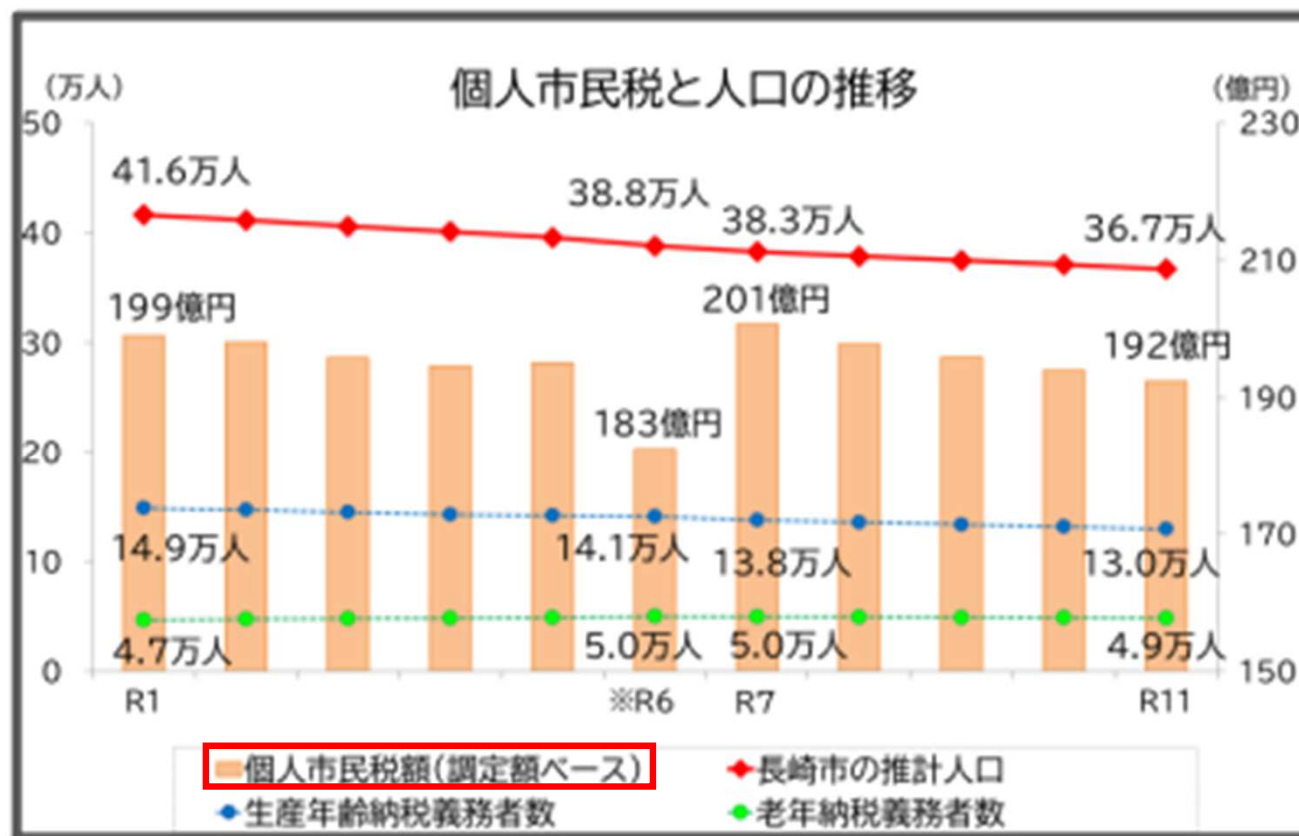
年齢3区分別の人口

生産年齢人口は、H27年から**46%減少**し、
生産年齢人口と高齢人口は同規模に

【年齢3区分別人口推移（2015年と2050年）】



- 個人市民税は人口推移による影響を受けやすく、減少していく見込みであり、高齢化に伴い社会保障費が増加するなど、これまで以上に厳しい財政運営が想定されます。



※R6の個人市民税額は定額減税の実施により減となるもの。

長崎市重点プロジェクトアクションプラン（令和6年2月策定）

経済再生プロジェクト



少子化対策プロジェクト

ミッション：長崎市の子どもの数を増やす

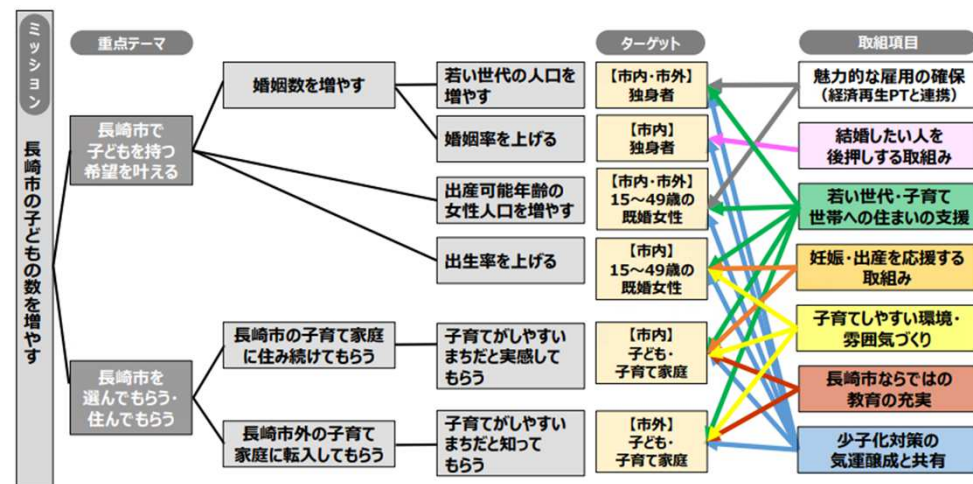
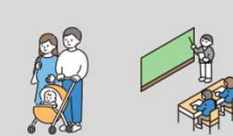
重点テーマA

長崎市で子どもを持つ希望を叶える



重点テーマB

（子育て家庭に）長崎市を選んでもらう、住んでもらう



まちづくり分野からも後押しする必要

これからのまちづくりは・・・

様々な方々の強みや主体性を生かし、行政が一体となりながら、まちづくりを進めることが不可欠



- 人口の減少に伴う消費・経済規模の縮小や高齢化の進行により、これまでのやり方だけでは地域課題の解決が難しくなっている
- 暮らし方・働き方に対する意識や価値観が変化・多様化している
- 税収が減る一方で、高齢化により社会保障費の増大が予測されるため、行政と地域が一体となってまちづくりを進める必要がある

長崎まちづくりのグランドデザイン2050は、

まちづくりの分野からも人口減少対策を後押しするため、

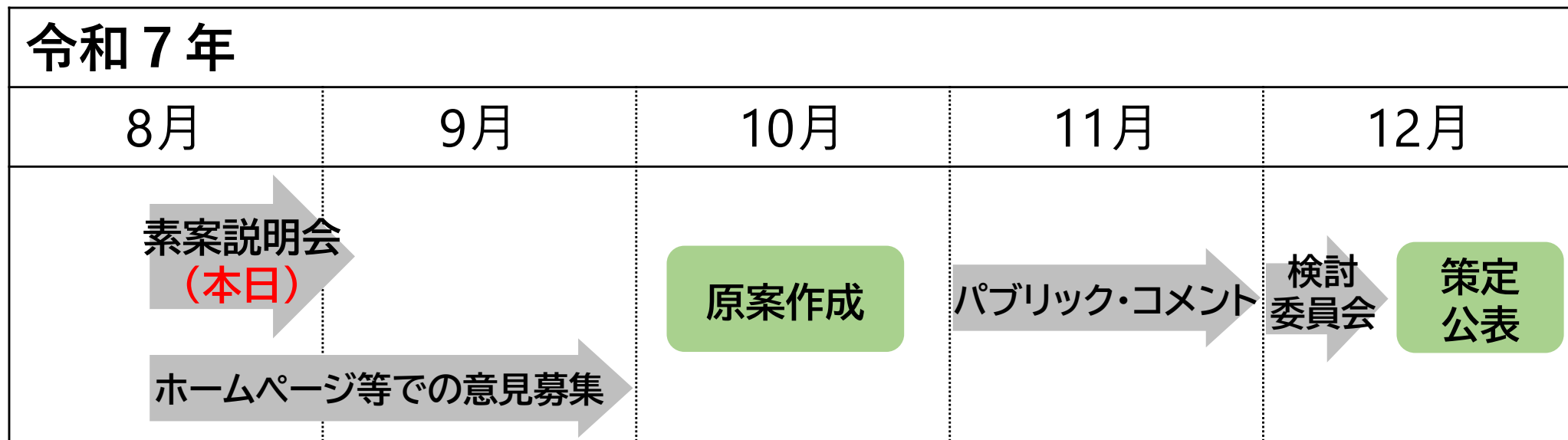
**まちづくりの方向性を示し、様々な方々と行政が
一体となりまちづくりを進めていくことを目指すもの**

として策定

3 長崎まちづくりのグランドデザイン2050(素案)

※別冊「長崎まちづくりのランドデザイン2050（素案）」をご覧ください。

4 今後の予定



○ホームページ等での意見募集について

①募集期間

令和 7 年 8 月 23 日 (土) ～ 令和 7 年 9 月 30 日 (火)

②意見提出方法

- ・ 長崎市ホームページの該当ページにある入力フォーム
- ・ 郵送、ファックス、電子メール、持参

※提出用紙は、ホームページからダウンロードできるほか、都市計画課（市役所18階）、地域センター、市政資料コーナー、市民サービスコーナーでも入手できます。

○パブリック・コメントについて

①実施時期

令和 7 年 11 月 (予定)

②周知方法

広報ながさき、長崎市公式SNS、長崎市ホームページ等

○長崎まちづくりのランドデザイン検討委員会について

①開催時期

令和 7 年 12 月 (予定)

②周知方法

長崎市ホームページ